

あなたは大丈夫？

個人情報を利用された トラブルに注意

個人情報を利用したさまざまなサービスが提供され、生活がとて便利になった反面、個人や事業者がパソコン操作をする際に、ちよつとした不注意による個人情報の流失が次々と明るみに出ています。

誤った取り扱いをされた場合、個人に取り返しのつかない被害を及ぼす恐れがあり、プライバシーに関する不安も高まっています。

こんな相談事例も…

突然、自宅に電話があり、「過去に契約した資格取得講座について、資格を取得していないので、契約が続いたままになっている。解約料が掛かるがやめることもできるし、有料で継続して資格取得に向けた講座を受講することも可能だ」と言われた。

解約するにも続けるにもお金が掛かるといふが、すでに支払いは終わっており、納得がいかない。どうしたらよいだろうか。

(30代 男性)



この事例は、過去の契約情報が悪用され、新たな契約の勧誘をされたというものです。突然の電話で相談者は、ほかの人が知らないはずの自分の契約情報を知っていたということ。そして、まさかその情報がほかの業者の手に渡り新たな契約の勧誘をされたとは想像がつかなかったようです。

今回の事例では、過去の契約についてはすでに支払いも終了しており、解約をする必要も、新たな契約をする必要もないものであることを相談者に伝えました。

個人情報は非常に重要なものだから、自分の情報は自分で守るといふ意識を持ち、むやみやたらに提供しない。また、情報を提供する時にも、その使い道などをしっかりと確認しておくことが大切です。

▼問い合わせ 市民サービスグループ (☎ 85 3 4 9 1)

人が輝き まちがとぎめく



仲間たち Group

バリアフリーネットワーク・つばさの会

『バリアフリーネットワーク・つばさの会』は、平成13年1月に、厚生年金病院に入院していた方が中心となり、退院後も集まって活動しようとして設立されました。

現在、心身にハンディキャップがある方やその家族、サポートを申し出てくれた方など会員50人で活動しています。

「設立当初、自然豊かな亀田記念公園で、高齢者や障がい者、車いす利用者が、安心して散策ができるよう、バリアフリー化の活動を始めました。その結果、こう配を緩めた散策路や駐車場・多目的トイレなどが整備され、わたしたちの願いが実現しました」と話すのは、会長の木村節子(きむらふせこ)さん。

わたしたちの活動で、バリアフリーの輪が広がることを願っています



▲会主催の車いす試乗体験

まだまだ時間がかかります。これからは、小学校などでの学校教育や市民活動を通して、心のバリアフリーの啓発を中心に活動を進めていきたいです」と木村さんは今後の抱負を話してくれました。

副会長の稲垣弘子(いながきひろこ)さんは、「車いすの人にとって、小さな段差も大きな障害物になります。実際に車いすの試乗体験を通して、車いすに対する理解を深めていただきたいですね。会では、定期的に車いす試乗体験を行っています」と参加を呼び掛けていました。

会では、そのほかの活動として、社会福祉協議会主催のイベント協力や、会員同士の親睦を深めるためトマト農園との交流会やミニコンサートなども行っています。

お問い合わせは、木村さん(☎ 86 7 9 0 3)までどうぞ。